

簡易牛舎における繁殖雌牛の周年放牧技術の確立(H28~30年度)

現状と課題

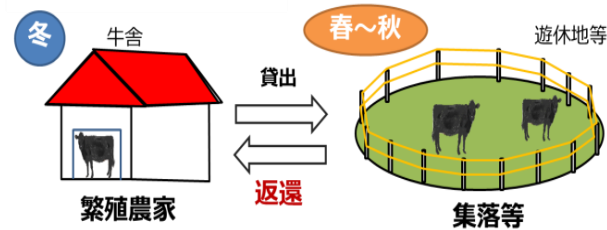
・県内繁殖農家戸数・頭数が減少

22戸(H22)→18戸(H26)
350頭(H22)→300頭(H26)

・季節放牧による繁殖雌牛の放牧が増加

放牧実績:頭数47頭、18ヶ所(H27)

本県での繁殖雌牛の放牧



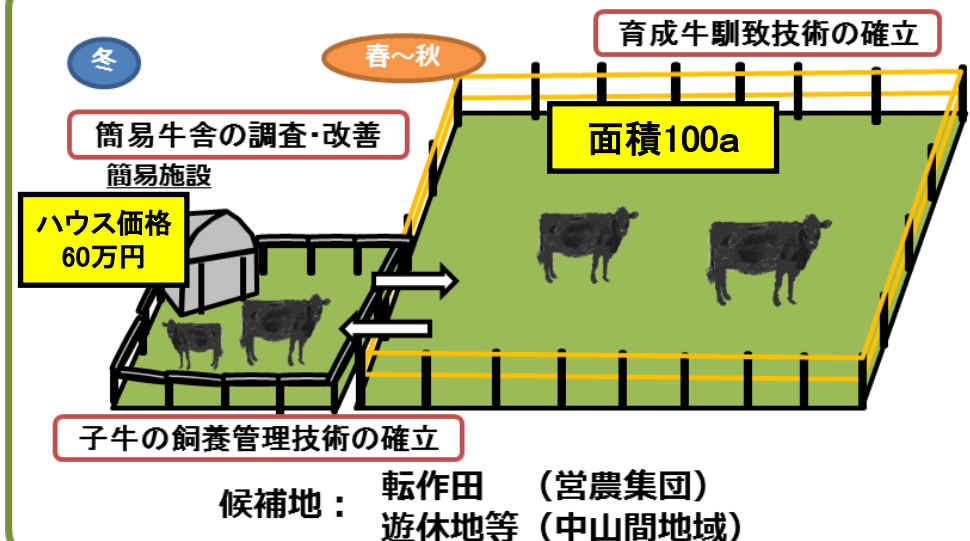
牛舎建設費が高いため、農家数・飼養頭数は増加しない。

目標

・簡易牛舎での周年放牧技術を用いた新規繁殖農家の開拓 20戸

試験内容

周年放牧イメージ図



福井県での周年放牧技術の確立

- 1、簡易牛舎による育成雌牛の放牧馴致、子牛の飼養管理
- 2、簡易牛舎の耐候性、保温対策、舎内環境の調査、改善
- 3、周年放牧飼養管理マニュアルの作成

結果

- 1、舎飼い子牛と同等の育成成績
- 2、多積雪湿雪地帯用低コスト簡易施設の開発 (200万円→90万円以下)

期待される成果

- ・繁殖雌牛飼養頭数 300頭(H26)→350頭
- ・子牛販売額 50頭×60万円=3,000万円/年